

男子15〜18歳

**武田**

(藍住 東中)

**優勝**

**高岸**

(生光 学園高)

女子15〜18歳

**世界ジュニア出場権獲得**

ゴルフ

代表選抜西日本決勝

ゴルフの世界ジュニア

選手権日本代表選抜西日本決勝大会が25、26の両



武田 紘汰



高岸 鈴

日、滋賀県甲賀市の滋賀ゴルフ倶楽部で行われ、15〜18歳の部の男子は武田紘汰(15)＝藍住東中3年、女子は高岸鈴(16)＝生光学園高1年Ⅱがそろ

って優勝し、7月11、14日に米サンディエゴで行われる世界選手権の出場権を獲得した。男子(6956ヤ、パー72)には21人が出場。初日を首位と4打差の3オーバー、75で6位発進した武田は最終日、前半インでバーディーを奪うと後半のアウトも粘り強くラウンドし、通算4オーバ

の148で優勝した。23人で争った女子(6386ヤ、パー72)の高岸は、初日を1位と1打差の3オーバー、75で3位スタート。最終日の前半アウトは悪天候に苦しみながらも、後半インを2バーディーノーボギーとし、通算7オーバーの151で制した。15〜18歳の部は男女それぞれ上位2人が世界選手権に出場する。男子は渋川煌(兵庫)、女子は松本来海(和歌山)がいずれもプレーオフを制して2位に入った。

(伊藤興文)

藍住東中・武田紘汰(男子15〜18歳の部で逆転優勝)「ショットもそこそこ安定していたし、パーパットがよく入ってくれた。世界選手権出場は素直にうれしい。ロングコースに対応できるよう、ドライバーの飛距離をもっと伸ばし、上位入賞を目指す」  
 生光学園高・高岸鈴(2位に1打差で女子15〜18歳の部を制し)「雨の影響もあって前半は良くなかったが、後半に臨む前にパットを練習し、修正できた。世界選手権は楽しみ。各国の選手を意識し過ぎず、自分がやってきたことの全てを出し切りたい」